

高知県立林業大学校

香美市土佐山田町大平80
TEL 0887-52-0784

集まれ！林業1年生

～林業大学校で学ぼう～

林業機械を操れ！

2024年5月。高知県立林業大学校に、4月から入学したばかりの1年生が、2班に分かれて実習授業を行いました。

1班はチェンソーワークのトレーニング。チェンソーは、エンジンやモーターでチェーン状の刃を回転させて、木を伐る機械です。とても便利で、びっくりするほどパワフル！その分、使い方を間違えると大けがにつながってしまうので、作業の時には安全対策が欠かせません。

少し離れた場所で2班が重機運転資格の講習を受けています。コースに並んだ赤いコーンを慎重にすり抜けながら、前方に付いたバケットを上下に動かします。研修生が運転しているのは、ホイールローダーという機械です。

山を守る候補生

今年度は基礎課程21名、専攻課程22名の研修生が林業大学校に入学。1/3が県外出身者、女性は4名です。4月から1年間、様々な知識と技術を身につけ、立派な林業従事者を目指します。

今の中高の森林は、大部分が人間が植林した人工林です。今、その多くが収穫できるくらいに大きく育っており、卒業後、現場のプロフェッショナルとなる彼らに期待が集まります。



なによりも安全重視!
実習では危険を察知する力も養います。

ヘルメット、イヤーマフ、チェンソーが当たった瞬間に刃を止める特しゅな繊維でできた防護ズボンや安全ブーツなどを装備。万全の安全対策で授業にのぞみます。チェンソーのスロットルレバーを引くと、大きな音とともに丸太があっという間に切断されていきます。

林業1年生にインタビュー ●●●●

林業が身についたら最強。

生まれは静岡県。以前は東京のIT企業で働いていました。林業大学校に入学するため、4月から高知へ。今、知らないことを知り、できなかつたことができるようになる毎日がすごく楽しいです。

やりがいは、頑張った分だけ資格が増えていくことです。



松永 奈津子さん 39歳

林業家の父に憧れて。

生まれは高知県。農業高校を卒業後、林業大学校へ。夢は、自分が伐った木で建物がつくられます。林業は、一歩間違えば命に関わることもある大変な仕事なので、卒業までに、知識も技術もしっかりと身につけます。

いつの日か、父と一緒に仕事がしたいです。



森岡 快成さん 18歳

自伐型林業を目指して。

生まれは高知県。以前は自動車の整備士をしていました。妻と2歳の子どもがいます。いきなり林業の世界に飛び込むには勇気がいましたが、「やりたいことをやってみればいい」と妻が背中を押してくれました。

いつか、自分の伐った木で家族の家を建てたいです。



原 大貴さん 30歳

林業に貢献していきたい。

生まれは高知県。もともと林業を学びたいと感じていました。妻と2歳の子どもがいます。いきなり林業の世界に飛び込むには勇気がいましたが、「やりたいことをやってみればいい」と妻が背中を押してくれました。将来は、土佐山田にある祖母の山の管理もしたいです。

早く、現場で働きたくてワクワクしています。



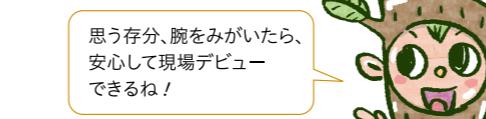
西岡 大貴さん 26歳

就職率100%！

木を伐るだけでなく、森を再生しないといかないと、林業は持続できません。目指すのは、伐ったら植え、育て、収穫するというサイクルで継続できる林業です。本校の研修生は、最低でも基礎課程で12種類の資格を取得できます。これは林業の現場で即戦力として活躍するために必要な資格です。

山口 達也先生
基礎課程担当

最先端操作技術の体感・習得にはシミュレーターも活用されています。



思う存分、腕をみがいたら、安心して現場デビューできるね！

手厚い給付金があるので、費用面で心配な方も安心して学べます。体力的なトレーニングの1つとして、トレイルランニングも実施。筆山から皿ヶ峰、鷲尾山、鳥帽子山の往復コースで、山中の地図の見方も習得します。



この日の取材の様子はこちから
もりんチャンネル



Instagram QR